

AGENDA

- 13:00 ● 受付開始
- 13:30 ● 主催者ご挨拶
中村博之 知的資産マネジメント支援機構
- 13:35 ● 基調講演
「地域金融機関のリレバン経営力」
五味廣文 西村あさひ法律事務所 顧問(前金融庁長官)
- 14:05 ● 特別講演
「リレバンの真髄としての知的資産経営評価」
村本孜 成城大学 社会イノベーション研究科長(中小企業基盤整備機構 副理事長)
- 14:35 ● 事例紹介
「知的資産経営評価を活用した地元企業との協働」
千葉銀行
- 14:55 ● コーヒーブレイク
- 15:15 ● 地域金融リレバン強化研究会報告
「顧客経営の見える化」を基点としたリレバン業務プロセス改革の指針
事務局: 中村博之 知的資産マネジメント支援機構、江上広行 電通国際情報サービス
研究会参加メンバー代表コメント: 横浜銀行 法人営業部 企画グループ長 真野 洋
西武信用金庫 常勤理事 事業支援部長 高橋 一郎
- 15:50 ● パネルディスカッション
「地域金融機関が地元企業の経営パートナーとしてできること」
パネリスト: 福岡銀行・香川銀行・浜松信用金庫・高野善松 知的資産マネジメント支援機構
コーディネーター: 坂本忠弘 知的資産マネジメント支援機構
- 17:00

地域金融リレバン力強化フォーラム

今、求められる 『顧客経営の見える化』力

—リレバン現場力を経営戦略に活かす—



ACCESS/MAP

【会場】
東京国際フォーラム ホールD7

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1

【交通】

- JR線 ○有楽町駅より徒歩1分
○東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)
- 地下鉄 ○有楽町線: 有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡
○日比谷線: 銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分
○千代田線: 二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
○丸ノ内線: 銀座駅より徒歩5分
○銀座線: 銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分
○三田線: 日比谷駅より徒歩5分



フォーラムのお申し込み

対象 地域金融機関の経営者、経営企画、営業推進、融資管理、リスク管理、人事管理、システム企画等のご担当者

フォーラムへのご参加・お申し込みは、右記のいずれかの方法をお選びください。

※定員がありますので、お早めにお申込みください。

参加費: 無料(事前登録制)

FAX: 03-5281-7030

TEL: 03-5281-7030

<http://www.icconnect.jp> ※WEBからもお申し込みいただけます。

※添付のFAX申込用紙をご利用ください。

開催日: 5月18日(月) 13:30~(13:00受付開始)

会場: 東京国際フォーラム ホールD7

主催: 知的資産マネジメント支援機構

協力: 地域共創ネットワーク/株式会社電通国際情報サービス

参加費: 無料(事前登録制)

【事務局】 知的資産マネジメント支援機構

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-13 ヴァンサンクビル9F TEL/FAX 03-5281-7030

【協賛】 株式会社銀行研修社



特定非営利
活動法人 金融検定協会
FINANCIAL OFFICIAL APPROVAL ASSOCIATION

株式会社 近代セールス社



※本フォーラムの申し込みに際してご提供いただきました個人情報は、主催者及び協力会社で個人情報保護方針に沿って管理いたします。
また、本フォーラムの運営及び今後の関連セミナー、取扱いサービス等のご案内に利用させていただくことがあります。

地域金融機関は、これから、地域の 中小企業そして地域社会と、 どのように向き合って歩んでいくのか。

地域金融機関は、顧客やマーケットを選択しながら収益を追求していくのではなく、顧客の経営と深く関わりあいながら、地域とともに成長していくリレーションシップ・バンキングこそが恒久的なビジネスモデルだと言われています。しかし、実際の業務運営の中で、具体的にそれをどう位置づけて展開していくか、各金融機関はまだ試行錯誤の中にあると考えられます。

たとえば、地域金融機関からは次のような声が聞かれます。

- 営業現場では短期的なキャンペーン型営業から入りがちで、顧客企業との継続的な関係構築に基づいた経営と資金のニーズ把握ができていない。
- 金融商品や顧客ニーズの複雑化・多様化が進展する一方で、顧客企業の実態把握、コミュニケーション力を高めていくための人材育成に時間がさけない。
- 情報システムに相当額の投資を行い顧客情報の蓄積を進めているものの、それが営業活動や、リスク管理に十分に活かされていない。

これらの課題には、「金融機関と顧客の関係の中で『顧客経営の見える化』がされていない」という共通の根本的原因が存在しています。

今、地域金融機関は、厳しい経済情勢の中で地域の中小企業としっかり向き合い、将来の企業成長の根源となる、経営資源(知的資産)等を把握したうえで、事業計画を協働で構築することが求められています。言いかえれば、企業の過去の財務成果(=「果実」)だけではなく、その道筋を表した事業計画(=「木の幹」)、さらにそれを実現させる経営資源(=「木の根」)を体系的に把握して、将来の可能性を顧客と共有することにはかなりません。そのためには、『顧客経営の見える化』を業務プロセス改革の中で着実に展開し、現場の事業支援力と融資力を一層高めていくことが必要となります。

そして、その重要なひとつの「鍵」が、企業の経営資源である人的資産・組織資産・関係資産から構成される「知的資産経営」に着目した、企業の経営実態の把握力です。

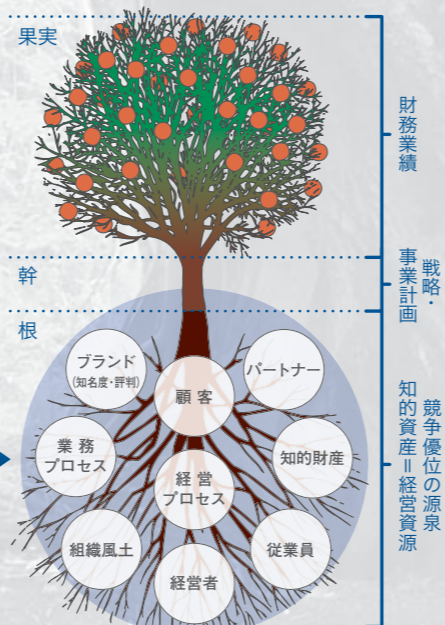
本フォーラムでは、「顧客経営の見える化」力を軸に、真のリレーションシップ・バンキングを展開していくための、具体的な経営戦略や業務改革の指針を提示したいと考えています。

そして、それを明日から実践していくために、課題をテーマごとに整理し、何から、どのように始めていくかについての提言を行います。

知的資産マネジメント支援機構

知的資産マネジメント支援機構は、地域金融機関のリレーションシップ・バンキング実現における、「知的資産経営評価」の実践活用を通じて、地域社会での「顔が見える金融」の実現に寄与し、地域企業と共に未来を拓いていくパートナー実現に貢献したいと考えています。

「見える化」



「リレバン現場力を経営戦略に活かす」

今、求められる 「顧客経営の見える化」力

基調講演

「地域金融機関のリレバン経営力」

ビジネスモデルとしてのリレバンの位置づけを含めて、現在の経済金融環境の下での地域金融機関の今後の経営の舵取りについて、お話いただきます。

五味廣文 西村あさひ法律事務所 顧問 (前金融庁長官)

神奈川県出身。大蔵省入省後、主計局主計官、銀行局特別金融課長、銀行局調査課長を経て、金融庁の前身である金融監督庁の発足に関わり、以後一貫して金融行政の中心にて、金融監督庁検査部長、証券取引等監視委員会事務局長、金融庁検査局長、金融庁監督局長、2004年7月より2007年7月まで、金融庁長官。2007年10月、西村あさひ法律事務所顧問に就任。



特別講演

「リレバンの真髄としての知的資産経営評価」

中小企業における知的資産経営の意義と、金融機関の目利き力の向上のための知的資産経営評価の活用のポイントについて、お話いただきます。

村本 孜 成城大学 社会イノベーション研究科長 (中小企業基盤整備機構 副理事長)

神奈川県出身。一橋大学大学院博士課程修了後、成城大学経済学部勤務。1984年に成城大学経済学部教授に就任。1997年経済学部長、2005年社会イノベーション学部長、2009年社会イノベーション研究科長。2004年より中小企業基盤整備機構副理事長を兼任。金融機能強化審査会会長、金融審議会専門委員(リレバンWG座長代理、協金WG座長代理)、経済産業省中小企業政策審議会委員ほか政府審議会委員等多数。著書「リレーションシップ・バンキングと金融システム」ほか多数。



事例紹介

「知的資産経営評価を活用した地元企業との協働」

知的資産経営評価を用いた、地域の中小企業とのコミュニケーションの深化や、課題解決型金融への地域金融機関としての協働への取り組みについて、お話いただきます。

千葉銀行

地域金融リレバン力強化研究会報告

「顧客経営の見える化」を基点としたリレバン業務プロセス改革の指針

「顧客経営の見える化」をベースに、信用格付・取引方針・案件対応・経営支援が連動一貫する、地域金融機関としてのリレバンビジネスモデルをどう構築するか、そのための全体最適の業務設計の方向性、経営上の着眼点・留意点などについて検討してきた、リレバン力強化研究会の概要を発表します。

事務局

中村博之 知的資産マネジメント支援機構

経済産業省：知的資本と企業価値に関する研究/知的資産指標・「知的資産経営報告書」開示ガイドライン策定委員、中小企業基盤整備機構「ファンド投資先企業経営力(知的資産)診断プロジェクト」(非財務情報を活用した中小企業の経営実態の把握そのモデル化)中小企業基盤整備機構「知的資産ファイナンスWG委員」、2008年に知的資産マネジメント支援機構を設立、代表取締役。

江上広行 電通国際情報サービス

経済産業省知的資産経営評価融資研究会委員 中小企業診断士 社会経済生産性本部認定経営コンサルタント/ITCA認定ITコーディネータ/米國PMI認定PMP/株式会社北陸銀行の融資部門にて信用調査、企業再生支援、CRMシステムの開発等に従事。2007年より現職、主に地域金融機関向けの、システム化の企画および提案活動を行う。

研究会参加メンバー代表コメント

横浜銀行 法人営業部 企画グループ長 真野 洋・西武信用金庫 常勤理事 事業支援部長 高橋 一朗

パネルディスカッション

「地域金融機関が地元企業の経営パートナーとしてできること」

地域の中小企業の経営者の悩みと課題を共有できているか、そして、その先には、どのような役割が果たせるか。それぞれの取り組みを紹介いただきながら、地域の経営パートナーとして、資金面とともに経営・事業支援において、地域金融機関に、今、求められていることを、考えていきます。

パネリスト

福岡銀行・香川銀行・浜松信用金庫

高野善松 知的資産マネジメント支援機構

有限会社オレンジ・ラボ代表取締役/中小企業診断士/旧大和銀行にて融資渉外、管理業務等を15年間に渡り従事。全国の金融機関向け「目利き」研修他各種セミナー実施。金融マン向けに「中小企業支援育成に関する目利き通信講座」、リレバン、ABL等の執筆活動を行っている。

コーディネーター

坂本忠弘 知的資産マネジメント支援機構/地域共創ネットワーク

財務省・金融庁での経験を活かして、地域金融機関の新たな融資・投資のソリューションの提供などに取り組む。1990年に大蔵省入省後、財務省主計局、金融庁監督局、金融担当副大臣秘書官などを歴任し、2006年に退官。地域共創ネットワークを設立。経済産業省知的資産経営評価融資研究会委員等